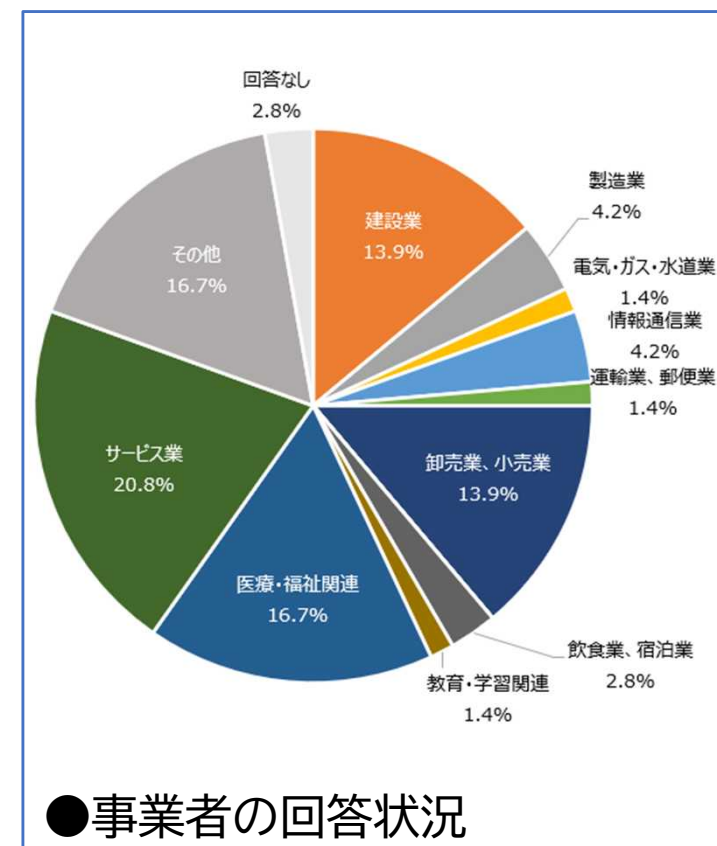
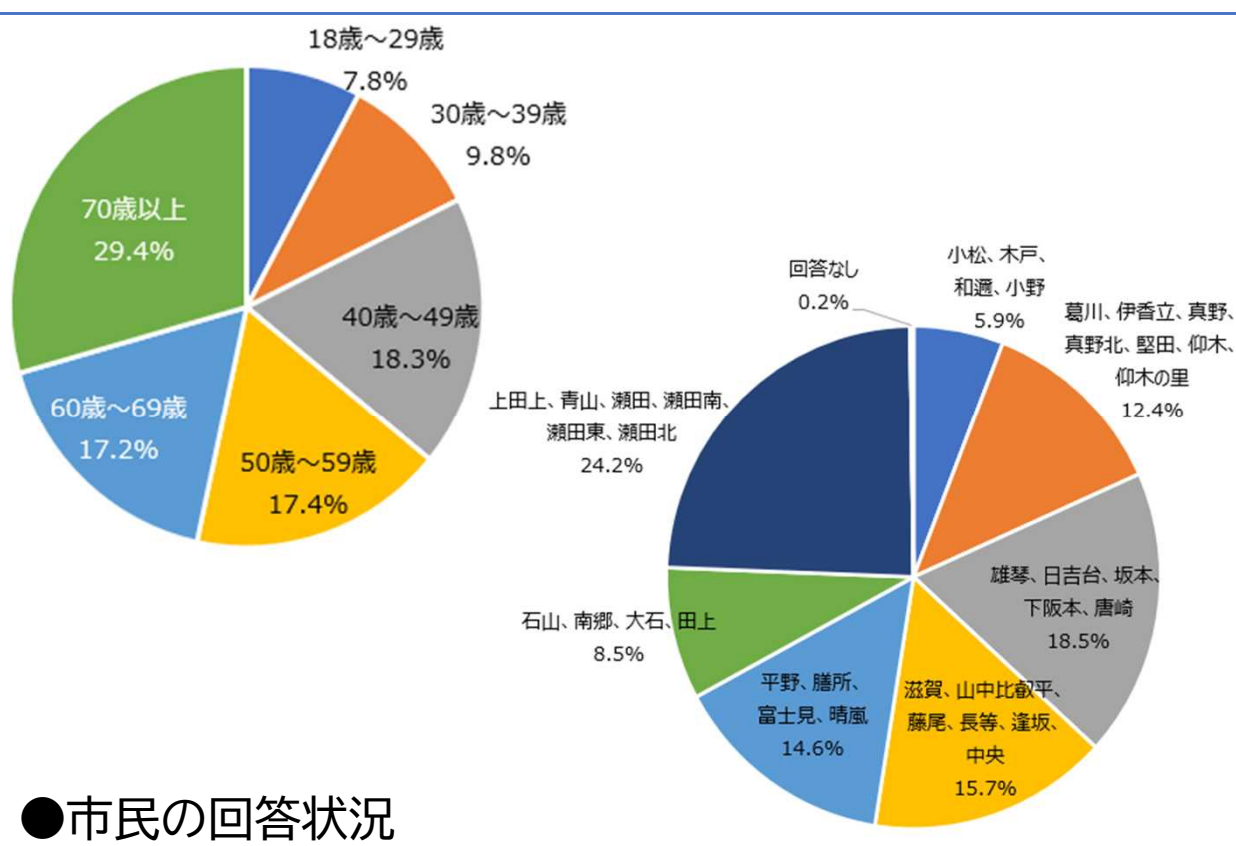


市民意識調査の結果と分析について

市民意識調査の概要

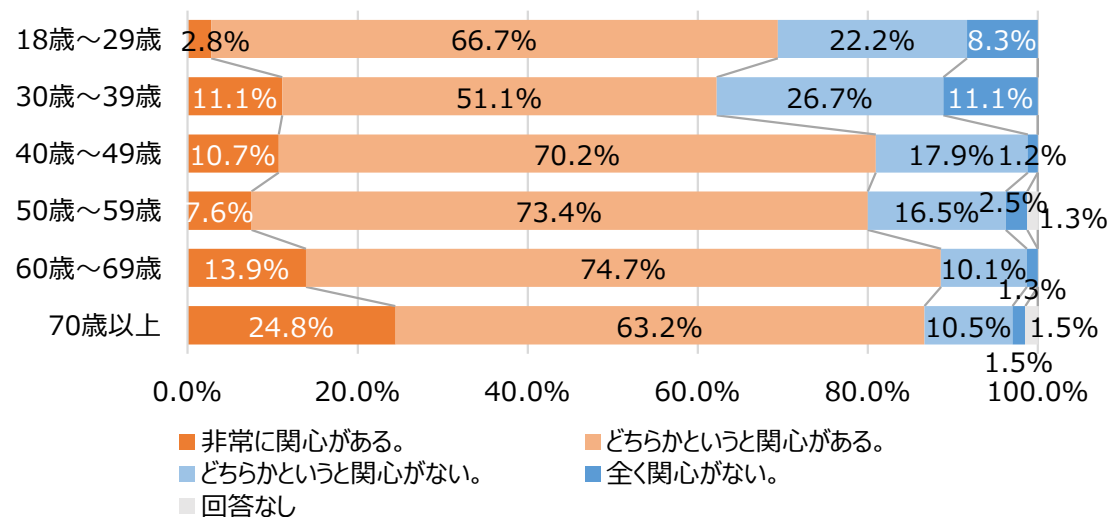
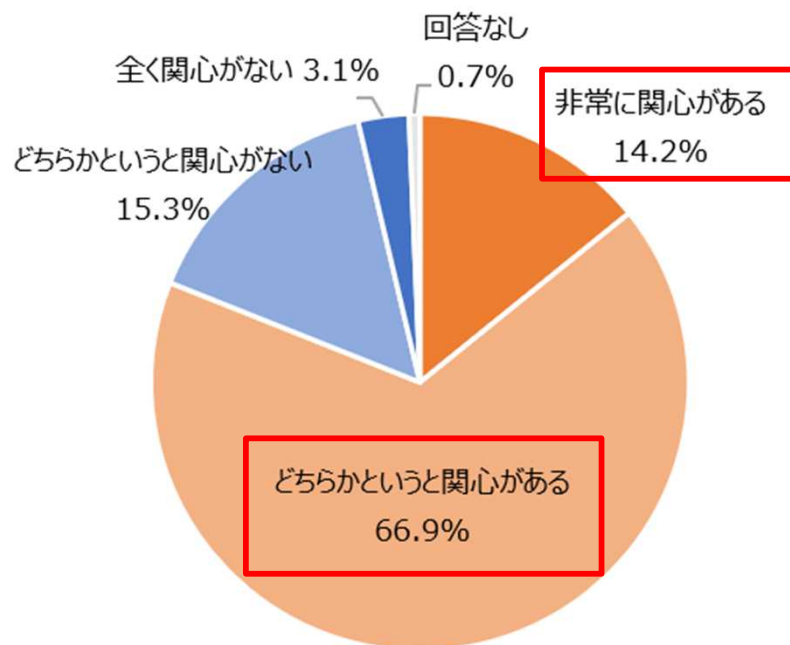
市民意識調査	
調査対象	無作為に抽出した18歳以上の市民 1,000人
調査期間	令和7年12月15日～令和8年1月12日
調査方法	郵送配布 WEB及び紙の返送による回答
回答数・回答率	回答数459件・回答率 45.9% (WEB: 194件、紙の返送: 265件)
事業者意識調査	
調査対象	無作為に抽出した市内に事業場を有する事業者 200社
調査期間	令和7年12月15日～令和8年1月12日
調査方法	郵送配布 WEB及び紙の返送による回答
回答数・回答率	回答数72件・回答率 36.0% (WEB: 23件、紙の返送: 49件)

市民意識調査の概要



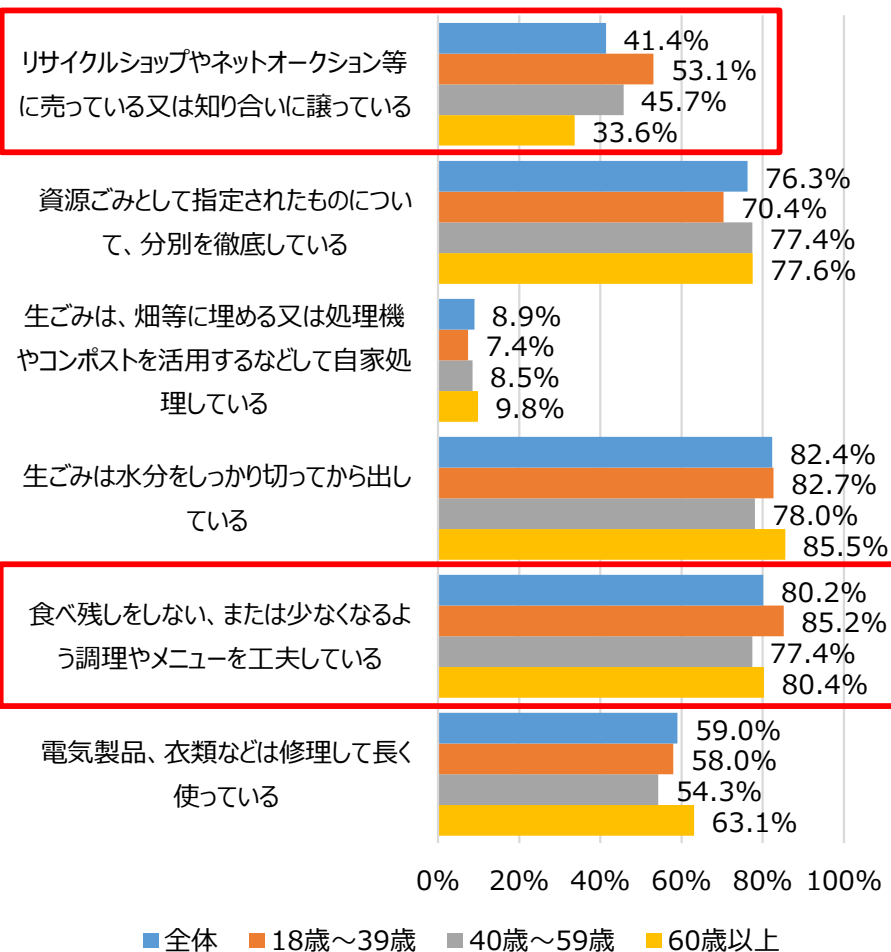
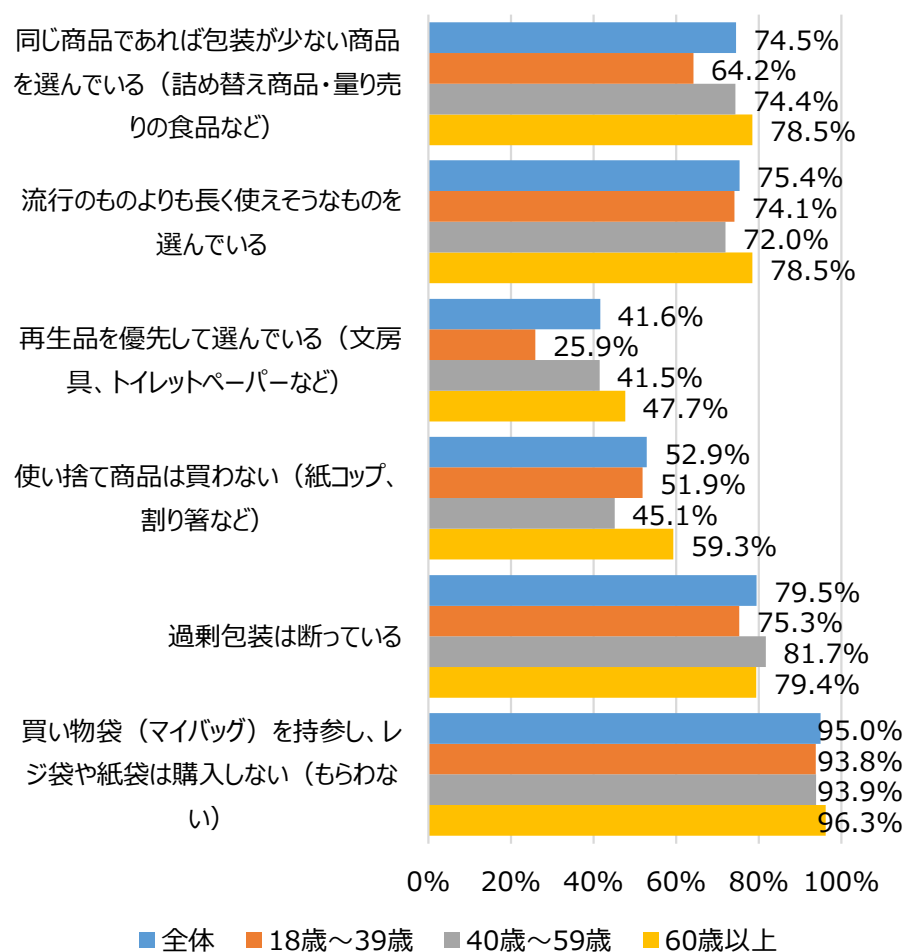
市民意識調査の結果と分析

Q. ごみの減量やリサイクル等のごみ問題に関心はありますか。



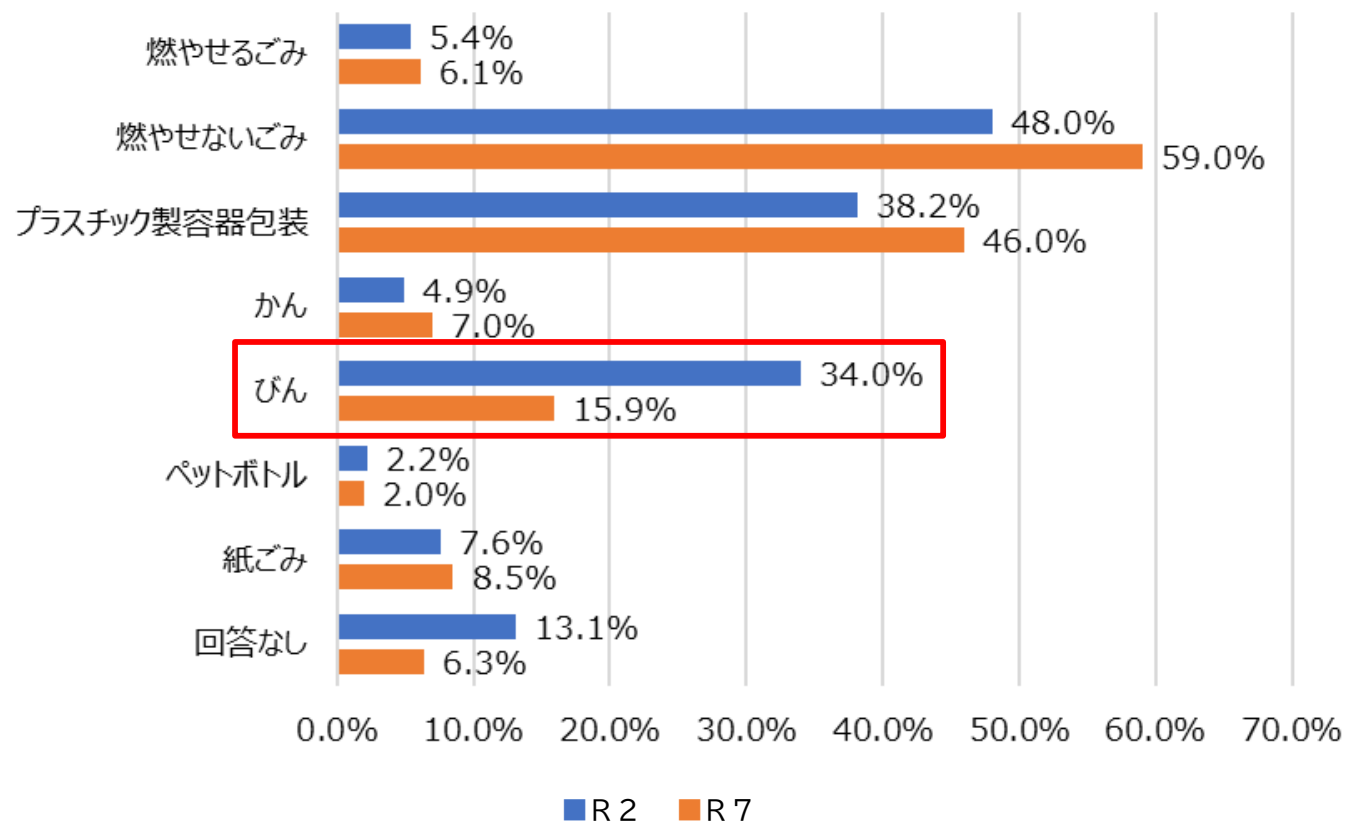
市民意識調査の結果と分析

Q. ごみの減量やリサイクル等への取り組みについて、実施状況をお聞きます。



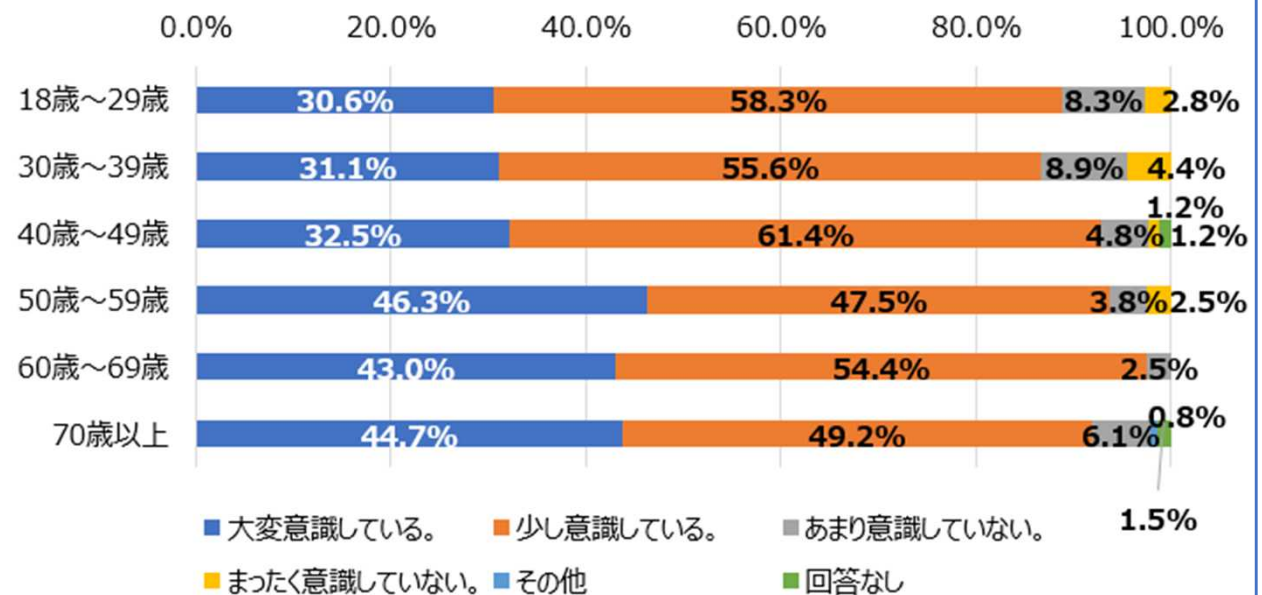
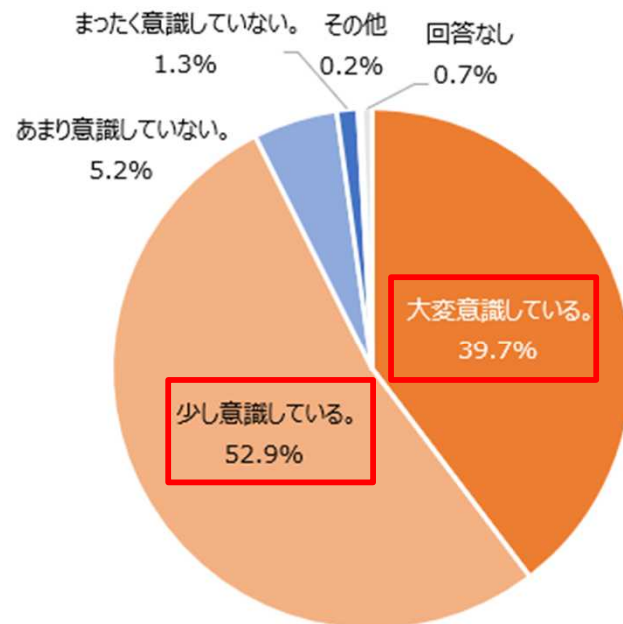
市民意識調査の結果と分析

Q. ごみの排出にあたり、分別が難しいと感じるものを2つまでお答えください。



市民意識調査の結果と分析

Q. あなたは食品ロス削減について意識していますか。

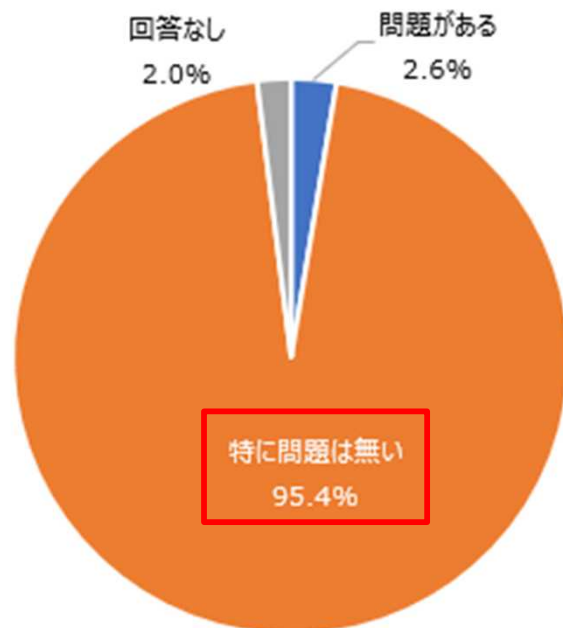


食品ロス削減を意識している割合

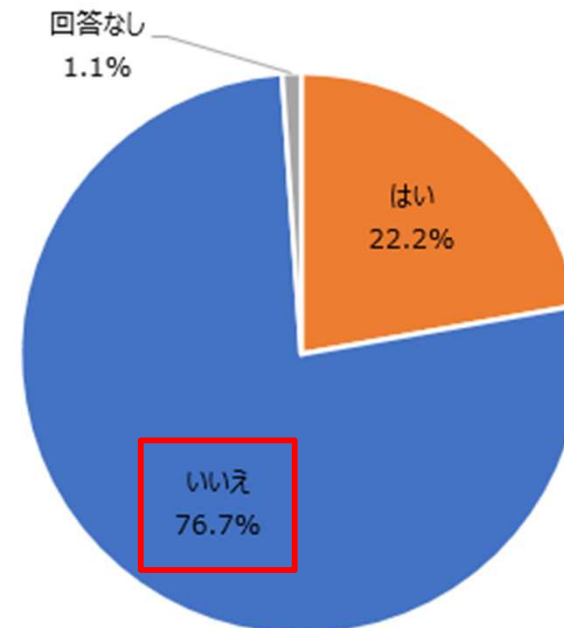
令和2年度調査 約90% → 令和7年度調査 約92.6%

市民意識調査の結果と分析

Q. 令和6年10月から土曜日の家庭ごみ定期収集が廃止となり、月曜日から金曜日までの週5日の収集となっています。このことにより何か問題がありましたか。

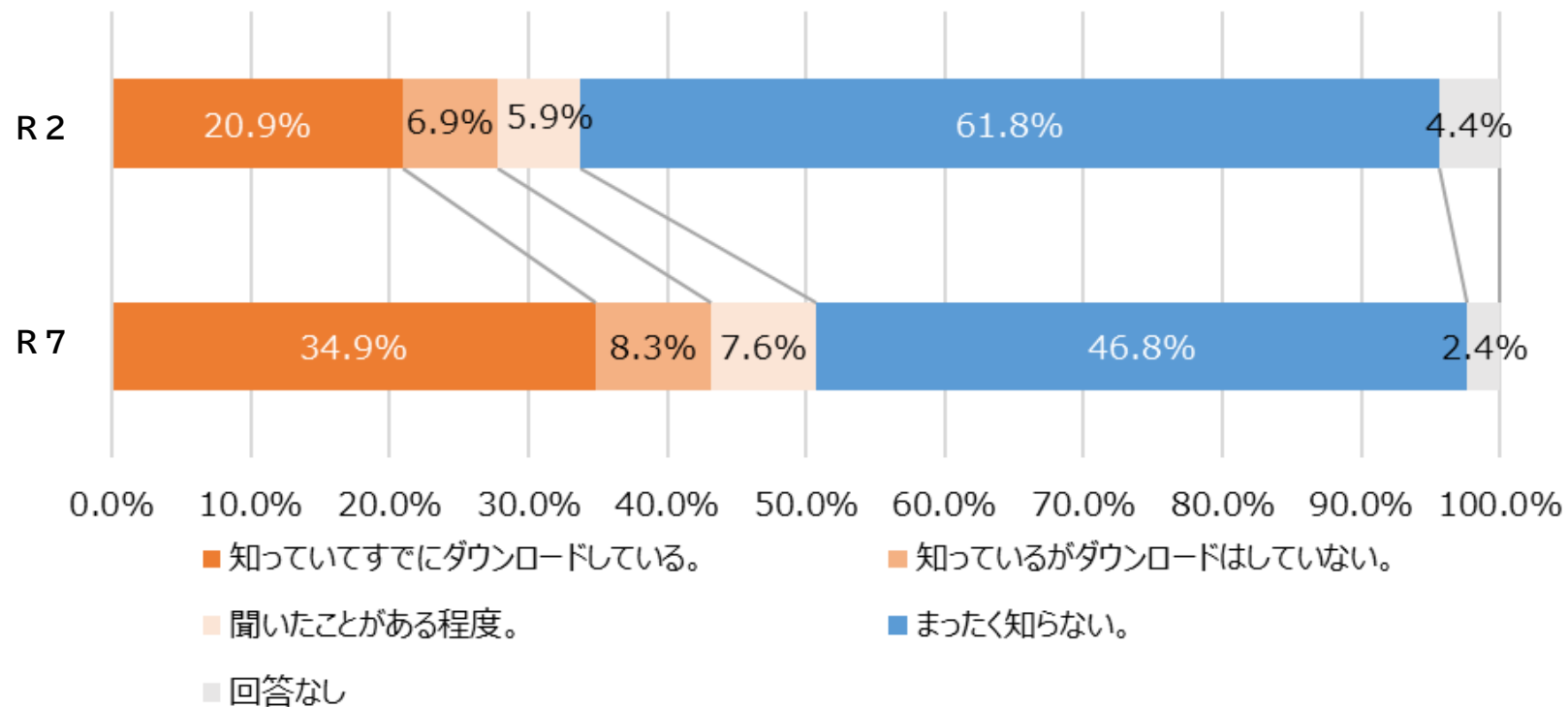


Q. 令和6年7月から、販売店等で回収されない小型充電式電池と、小型充電式電池の取り外しが困難な小型家電製品については、家庭ごみ定期収集の「びんの日」に併せてごみ集積所に出すことができます。このことを知っていますか。



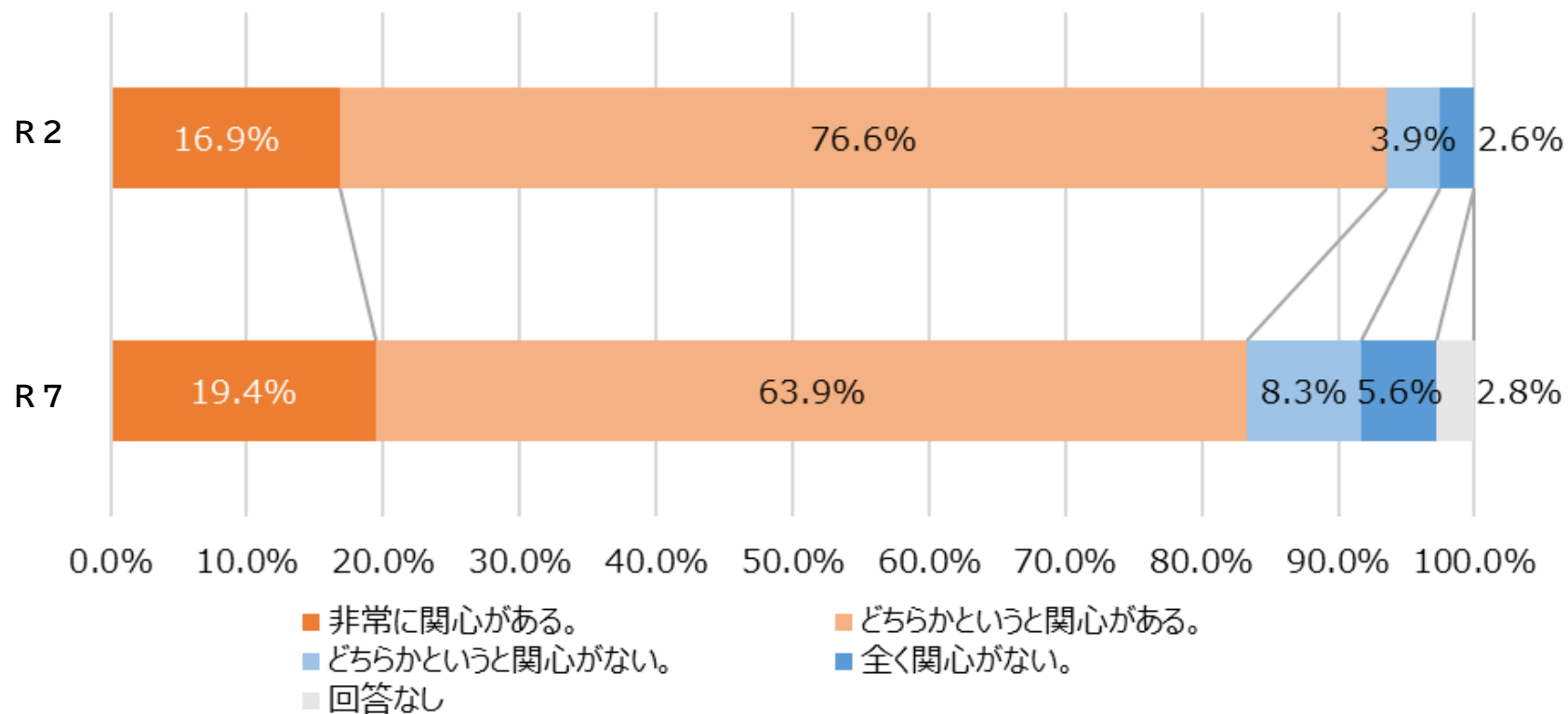
市民意識調査の結果と分析

Q. スマートフォン用アプリ「分けなび」を知っていますか。



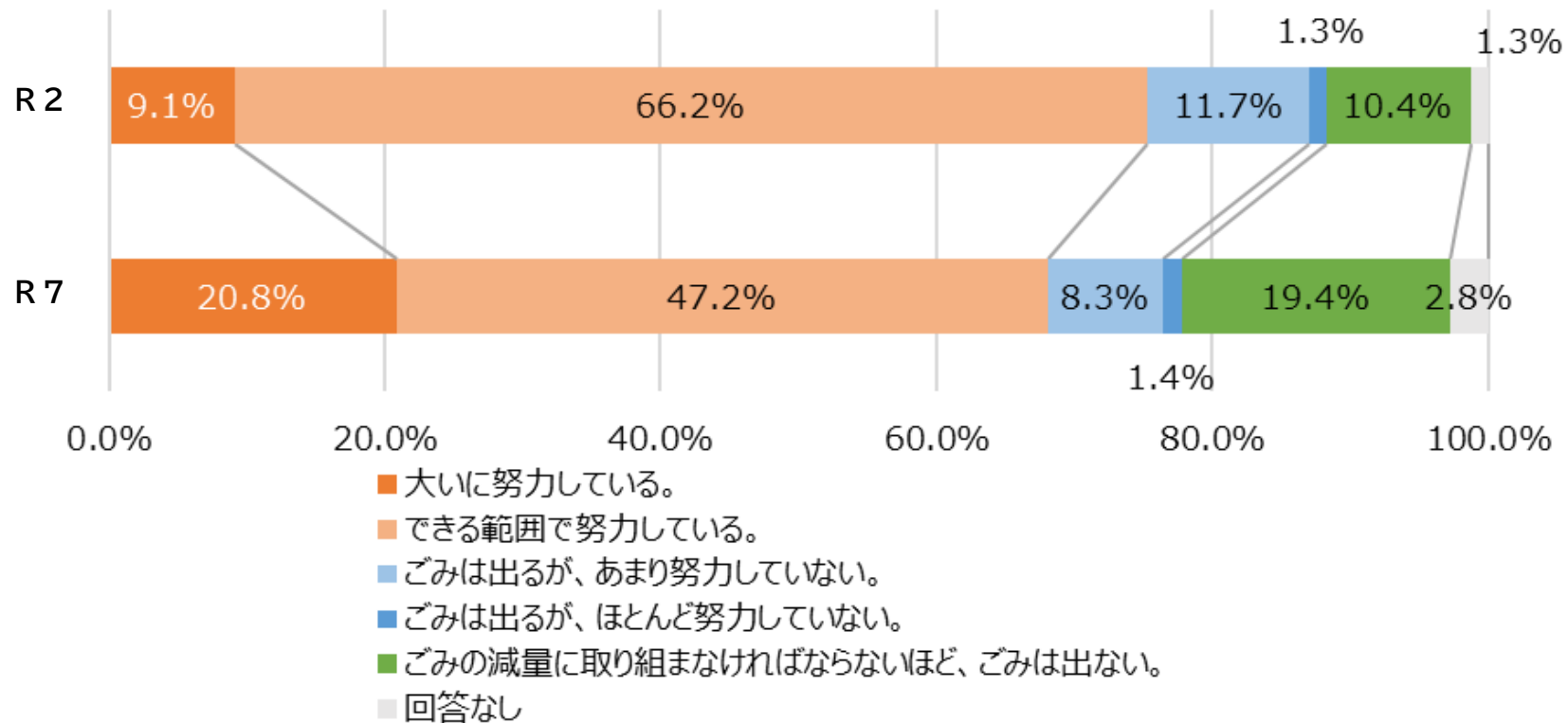
事業者意識調査の結果と分析

Q. ごみの減量やリサイクル等のごみ問題に関心はありますか。



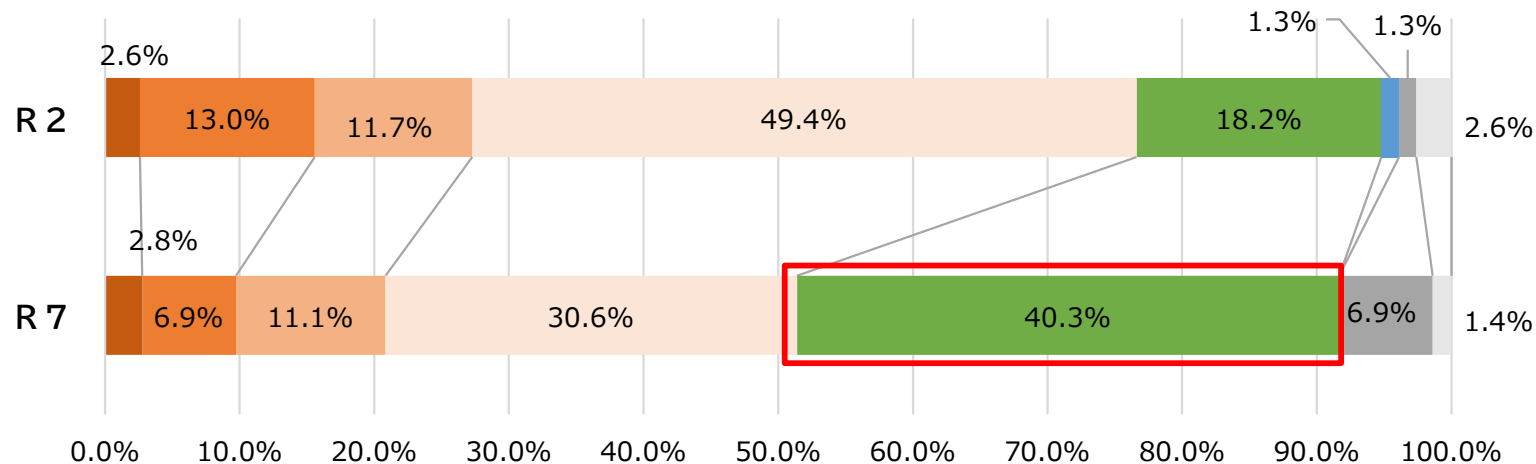
事業者意識調査の結果と分析

Q. あなたの事業所では、資源物の分別、古紙のリサイクル、生ごみの処理など、ごみの減量の努力をしていますか。



事業者意識調査の結果と分析

Q. あなたの事業所では、ごみの減量やリサイクルに取り組むことにより、現在排出しているごみの量を、どの程度まで減らすことが可能と考えますか。



- 半分程度は減らせる。
- 2～3割程度は減らせる。
- 1割程度は減らせる。
- 若干は減らせる。
- 現在十分減らしており、これ以上減らせる余地はない。
- 減らせる余地はあるが、特別な理由により減らすことができない。
- その他
- 回答なし

事業者意識調査の結果と分析

Q. 現在、あなたの事業所において、ごみの減量やリサイクルに取り組むに当たっての問題点をお答えください。

	R2	R7	差
経済的なコスト負担が大きいこと	26.0%	15.3%	-10.7%
適切な人材がないこと	11.7%	9.7%	2.0%
どのようなことに取り組めばよいのかわからないこと	19.5%	20.8%	1.4%
手間や時間がかかるため、現状では取り組みたくてもできないこと	24.7%	13.9%	-10.8%
日常の事業活動の中で常に意識して行動することが難しいこと	16.9%	15.3%	-1.6%
取り組みを行うことの効果を具体的に把握できないこと	15.6%	12.5%	-3.1%
取り組みを行うことにより、どれだけの効果があるのか疑問であること	7.8%	15.3%	7.5%
その他	7.8%	18.1%	10.3%
回答なし	24.7%	13.9%	-10.8%